

令和 8 年度 予算編成方針のポイント

1. 本市の重要施策の推進

(1) 災害からの復旧・復興（最優先課題）

・坂本町の創造的復興

- ・「坂本町復興計画」や「坂本町復興まちづくり計画」に基づき、一歩ずつ着実に取り組んできた。**引き続き、復興へ向け全力で推進**していく。

・8月の記録的大雨からの復旧・復興

- ・一日も早い復旧・復興に向け、国、県との連携を図り、**被災者に寄り添い、スピード感を持って推進**していく。

(2) 「新たな基本構想」を見据えた施策の展開

- ・「子どもたちが誇れるまち八代」の実現に向け、現在策定中の**「新たな基本構想」を見据えた取組を着実に推進**していく。

(3) 喫緊の課題への対応

- ・県と一体となって取り組んでいる工業団地整備による**最大の効果を得るための取組を着実に推進**していく。

2. 持続可能な財政運営に向けた取組

(1) 財政の見通し

【歳入】 自主財源の確保

- ・賃上げや物価高騰等に伴い、個人住民税や地方消費税交付金など一定程度の増加は見込めるものの、8月大雨災害の影響を踏まえると農業所得の減少等により市税全般については**大幅な税収増を見込むことは難しい**状況。
- ・ふるさと納税による寄附金は、ここ数年、順調に推移してきたが、今年度は伸び悩んでおり、**現状、大幅な増加は見込めない**状況。

【歳出】 経常経費の増加

- ・公共施設の老朽化に伴う維持管理費や物価高騰等の影響により委託料など経常経費も増加しており、昨年同様、**歳出の増加が市税の伸びを上回る**ことが予想される。
- ・給食センターなど大型事業の整備に加え、金利上昇の影響により、**今後、公債費は更に増加する見込み**である。

(2) メリハリのある予算化の実現

- ・本市の重要施策を全力で推進していくため、ゼロベースでの事業の見直しが必要不可欠となる。各部課かいにおいて、厳格な優先順位付けによる事業の見直しを実施し、メリハリのある予算化を実現する。
- ・昨年に引き続き、義務的経費や数年ごとに行う経費等を除いた部分には、**シーリングを設定**する。

シーリング率

令和 5 年度当初予算における一般財源と **【同額を上限】**

(昨年度のシーリング率 9.7 % に物価高騰分 3 % 見込む)